

ベルトラの二木社長「当日予約増やしシェア伸ばす」

2018/12/25 18:54 | 日本経済新聞 電子版

海外や国内の旅行に組み入れる現地ツアーのオンライン予約サイトを運営する**ベルトラ**が25日、東証マザーズに上場した。初値は公募・売り出し価格（公開価格、384円）を130円（34%）上回る514円。終値は498円だった。東京証券取引所で記者会見した二木渉社長は「当日でも予約できる商品を増やしてシェアを拡大していく」と述べた。主なやりとりは以下の通り。

——初値が公開価格を大幅に上回りました。

「日経平均が5営業日続落するなど株式相場が悪化していることの影響を懸念していたが、予想以上に多くの株主の期待を受けてこのような結果を得られた。今後もその期待に応えられるよう事業を着実に成長させていく」

——事業の強みや成長戦略を教えてください。

「約5000社に及ぶ現地企業と契約することで、145カ国・地域でのツアーを予約できるようにしている。商品の豊富なラインアップが強みだ。日本語以外に英語、韓国語、中国語でも顧客サポートをしている。評価の低い体験談などは放置せず現地

の会社に必ずフィードバックするようにしているため、ツアーや現地ガイドの質の高さにつながり、顧客の高い満足度を維持できている」

「現在は出発前に予約が必要な商品が大半を占める。だが現地ツアー市場の約80%は、渡航先のホテルのコンシェルジュやフリーペーパーなど、ネットを介さない手続きで予約が成立している。こうしたいわゆる『オフライン』の世界の顧客を開拓し、シェアも伸ばしていくためにも、旅行中それも当日に予約できる商品を増やしていく」

——上場によって調達した資金はどのように使いますか。

「事業拡大に向けたシステム開発がまだ追いついていない。旅行中の当日予約も含めスマートフォン（スマホ）での利用など、IT（情報技術）関連の投資に充てていく。営業人材の採用にもあてる」

——配当方針について教えてください。

「投資とのバランスをみながら、3年後の2021年をメドに配当を始めていきたい」

（亀井亜莉紗）



記者会見するベルトラの二木渉社長（25日、東証）

に掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.